■ 商品情報

価格・商品構成

事業者向けに税別で表示しています。

標準価格(税別)	98,000円
ライセンス	管理者用ライセンス:1　一般ユーザー用ライセンス:無制限
商品構成	・インストール用CD:2枚組 (管理者用、一般ユーザー用) ・取扱説明書 (管理者用、一般ユーザー用) (※1) ・ソフトウェア使用許諾契約書 (※2) ※1: 取扱説明書はDocuWorksファイルで提供されます。 ※2: ソフトウェア試用許諾契約書は、インストール時の同意画面に表示されます。

動作環境

・クライアントコンピューター(管理者用/一般ユーザー用)

OS	Microsoft Windows XP Professional 日本語版 (Service Pack3) Microsoft Windows Vista Business 日本語版 (Service Pack2) 注記:64bit版OSには対応していません
CPU(*)	Pentium III(333MHz以上)
HDD(*)	DocuVariable for DocuWorks インストール時に10MB 実際の操作には、加えて200MB以上の空き容量を推奨
メモリー(*)	256MB以上(512MB以上を推奨)
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上、フルカラー以上
ドライブ	CD-ROMドライブ(インストール時に必要)
その他	DocuWorks7.0 日本語版 .NET Framework2.0 日本語版

＊各OSの推奨値に準拠します

・サーバーコンピューター

OS	Microsoft Windows 2003 Server 日本語版 (Service Pack2) 注記:64bit版OSには対応していません
その他	・固定IPアドレスが設定されていること ・Windows共有フォルダが設定されていること ・Windows認証以外のセキュリティ機能が設定されていないこと

本商品は、DocuWorks(富士ゼロックス株式会社)のプラグインモジュールです。
ご利用には、別途 DocuWorks7.0 のご購入が必要です。

DocuWorks に関する詳細な情報は、富士ゼロックス株式会社のホームページからご確認ください。
http://www.fujixerox.co.jp/soft/docuworks/

保守・サポート

・購入後1年間は、専用メールアドレスによる無償サポートをご提供いたします。
・サポート用のメールアドレスは、本商品の取扱説明書に記載されます。
・対応時間は、月曜日から金曜日の10時から17時とさせて頂きます。ただし祝祭日および当社休業日は除きます。
・障害切り分け、設置代行、ご訪問サポートは行なっておりません。また、電話でのお問い合わせ対応は実施しておりません。
・購入後2年目以降のサポートをご希望のお客様は、「DocuVariable for DocuWorks 年間サポートサービス」をご利用ください。

※Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、.NET Frameworkは、米国Microsoft の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※Pentiumは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の登録商標または商標です。
※DocuVariable、DocuWorksは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
※その他の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。

富士ソフト株式会社　www.fsi.co.jp
〒231-8008 神奈川県横浜市中区桜木町1-1　0120-593-111 [受付時間] 月～金曜日 9:00～17:00(祝日を除く)

お問い合わせ
システム開発事業グループ 産業サービスシステムユニット
DocuVariable 窓口
〒231-8008　神奈川県横浜市中区桜木町1-1
TEL: 045-285-5057 FAX: 045-650-8036 E-mail:docu-v@fsi.co.jp

※本カタログに記載の内容および製品・サービスの仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。
※本カタログに記載の内容および製品・サービスの仕様は、平成22年10月1日現在の情報です。

AJAJ-DVdw(B)-283-1C-CRFSI/PMB

FSSolution Services

FUJISOFT

ドキュワークス プラグインソフト ドキュバリアブル

DocuVariable for DocuWorks

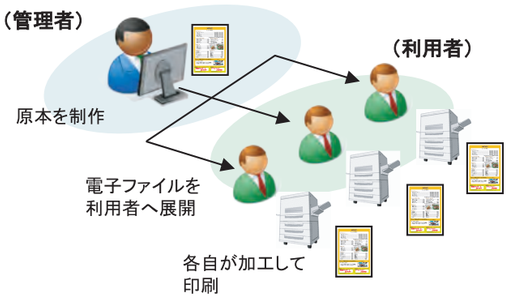
creating new values

文書の統制管理と、更なる活用の促進を実現します

厳しい経営環境の下、多様化した顧客のニーズに機敏に対応するために、
多くの企業が、活動の質とスピードの向上を求められています。

例えば、利用者が改変/印刷できる販促チラシの制作をお考えになったことはありませんか。
地域の顧客状況を把握している現場の知見を、有効に活かした販促活動を行なうことができるようになります。
しかしその一方で、個別のお客様ごとに内容の異なる販促チラシを制作するには、意外な手間やリスクが伴います。

利用者が改変/印刷できる販促チラシの運用例



よくある課題

- 文書作成の時間を短縮したい
- 自由に加工させると、原本制作者の意向が反映されなくなる
- イラスト素材が転用され、著作権の問題が心配だ
- 自社ブランドイメージを統一できない
- 各利用者がどのような加工を行なっているのか把握できない
- 難解な One to One システムを構築する必要がある

DocuVariable for DocuWorks が 解決 します。

可変領域を DocuWorks 文書上に設定可能

DocuVariable for DocuWorks を使用すると、
文書上に可変領域と不可変領域を設定することができます。
自由に文字や画像を差し込める可変領域を設ける一方、
管理者にとって変更させたくない箇所は不可変領域にすることで 、
統制の取れた文書の配信が可能になります。

作成履歴を収集して、更なる活用を促進

利用者が差し込んだ内容は、履歴として収集することができます。
いつ、誰が、どのような文書を作成したかという履歴を元にして、
文書の活用状況の把握と、更なる活用の促進を支援します。

■ 主な機能

区分	機能名	内容
管理者 機能	可変領域設定	文書上に、文字または画像の差し込み領域を設定することができます。
	サーバー登録	可変領域を設定した文書を、指定のサーバーへ登録します。その際、アクセス権の設定や作成ログ収集フォルダの設定も行ないます。
	作成ログの集計	利用者の作成ログを集計し、閲覧することができます。
一般ユーザー 機能	可変領域への入力 （1件ずつ作成）	文書に設定された可変領域に対して、文字または画像を差し込んで、独自の文書を作成します。
	可変領域への入力 （まとめて作成）	可変領域に差し込みたい情報を一覧化したCSVファイルを読み込ませることで、複数の文書を一括作成します。

■ ご利用の流れと画面のご紹介

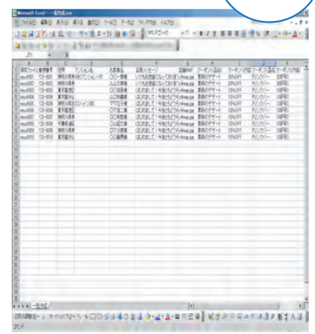
原本作成部門

① 文書に可変領域を設定

登録

④ 利用者の作成ログを集計閲覧

集計



- 文書ごとの作成状況
- 利用者ごとの作成状況
- 可変領域への差込内容

管理者

登録

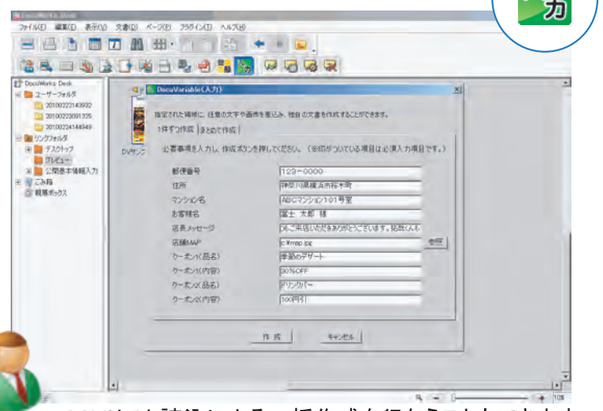
集計閲覧

利用部門

利用者

② 可変領域に文字や画像を差し込んで、独自の文書を作成

入力



CSVリスト読込による一括作成を行なうこともできます。

③ 必要な部数だけプリント

（情報入りチラシ）